

# ヒメシマチビゲンゴロウ

兵庫県：要調査

*Nebrioporus nipponicus*

環境省： —

## 種の概要

体長4.4～4.9mm。体型は卵形。背面は細かい網状印刻に被われるが、光沢はやや強く、特に♂では顕著である。頭部は黄褐色で後頭は黒ずむ。前胸背は黄褐色で前縁、中央部を除く後縁、中央部の紋は暗褐色だが、個体により消失する傾向のものも見られる。上翅は黄褐色で肩部、翅端部を除き各6～7条の縦条紋があるが、個体変異が著しい。側縁の翅端前には♂♀とも1歯状突起をそなえる。流水性で河川中流域の清流に生息する。



写真提供：森正人

## 国内分布

本州、四国

## 県内分布記録

神戸市、西宮市、伊丹市、宝塚市、加西市、淡路島（市町不明）

## 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		

## 特記事項

その後の調査では新たな記録や情報がなく、県内での分布状況がよく把握されていない。

## 保護上の留意点

河川環境の保全